

総 評

四季折々優しく微笑み咲き競い、語りかけてくれる、多種多様な大小の花々。今コロナ関連で厳しい状況下、植物公園の大温室を中心に、芽吹き・逞しい生命力・神秘性を感じながら、素晴らしい観察眼で写しこまれた姿が目に浮かびます。

今年度のすばらしい応募作品、373点が、明るい日差しの上にならべられ感動しながら、①花の清楚な質感：形状・光のとらえ方 ②背景処理ボカシ ③花の持つ神秘性アングル・構成 ④植物の一瞬の表情：ポイント・明暗・色調に重点をおき拝見させていただきました。

最優秀作品「開花」：小枝に抑え込まれながら生命力・開花、まさに力強く力量感・野生美のつたわる感動作品です。

特選4点：主役を引き立てる画面構成、背景処理に優れ主役・脇役効果も見受けられるなど、視点・トリミング・作品仕上げにそつがない。

(二科会写真部元理事・全日本写真連盟関西本部委員 秋田 隆司)

一時的に波が収まっていた新型コロナウイルスの感染が今年に入って急拡大しています。カメラを持って撮影に出かけることを自粛していたはずなのに、新たにオオミクロン株という感染拡大の強さ・速さを備えた最強の敵が現れました。写真愛好家にとっては辛いことです。

昨年、植物公園もコロナ禍で幾度か休園を余儀なくされました。花の開花時期に撮れない状況も起きました。狙いの花が撮れないこともあったでしょう。カメラマン受難の時に多くの写真が応募されたことは驚きであり、大きな喜びでもありました。

「花の素顔」という言葉がとても好きです。それぞれ人に特徴があるように、花にも独特の顔があります。「あなたはお子さんやお孫さんを撮るときどう撮りますか？」きれいに、可愛く撮りたいはずです。

花もそうです。美しく、艶やかに撮って欲しいのです。鮮やかな色と豪華さで人気の洋蘭、凜とした日本の野生蘭、小さい山野草の手の込んだ造形美、トゲの中から咲き出るサボテンの花の不思議さ。ゆっくり眺めて花の美しさ、可憐さを再発見してほしいものです。

良い写真は印象度で決まります。見た瞬間に「えっ」とか「何？」と思わせるものです。しばらく眺めて良いと思うことは希です。

最優秀賞の「開花」はまさに「えっ」という不思議さです。多肉植物の葉を周囲の枝、枯れ葉で花に見立てた構成力が素晴らしいと思います。ただ、審査会ではここまでの演出を是としましたが是とするかどうかという思いは残るかもしれません。

特選、準特選もそれぞれ印象度の強い作品がありました。コロナ対策をしっかりと、楽しみながら素敵な作品を撮って欲しいと思っています

(芸北写真塾主宰 紺野 昇)

(敬称略)